常磐毎日新聞

日刊

七月十八日　夕刊

定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 郵稅五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　坂本忠治
福島縣平市長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社　電話 六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京 四〇二一〇番

天氣豫報

今晩は南西の風　晴
明日は南西の風　晴

總力戰の槍玉に 七夕祭を中止

酷暑下に苦戰を重ねる 出征將兵に申譯なしと

昨夜商工會の協議

戰時下に於ける七夕祭をどうするかに就いて昨十七日午後七時からマルトモホールに商工會の肝煎りで廣告研究會其他關係者參集協議を遂げたが現下の戰時體制下に於て資源涵養を叫ばれ一枚の紙でも無駄にしない事が國策の線に沿ふの所以である折柄多大の費用と勞力を費やしてお祭り騒ぎを演ずる事は酷暑下に苦戰を重ぬる出征將兵に對しても申譯けがないと折角近年著しく興隆して名物化すに至つた豪華的行事ではあるが本年は斷然中止と決定した

大浪を蹴つて「沖から陸へ!」

公務急用者をリレー

▽……銃後の海國美談

公務急用者を見事リレーして原籍に向はしめ無事重大任務に就かしたといふ小名濱漁業組合の胸のすくやうな銃後美談—大阪市回漕問屋大眞商店所有貨物船ウラヂオ丸（千五百噸）、

乘込員 小島五郎君はこの程召集されたが當時同船は青森港を出帆大阪に向け航行中であり海路では期間に間に合はないので大眞商店では銚子無電を經由、小名濱水產試驗場に對しこれが善處方を依賴して來たこの

通知に 接した水試場では直ちに漁業組合に通報漁業組合では緊急幹部會を開いた結果幹部の一人同町太田豊太郎氏が漁夫十餘名を連れて沖合に出動豪雨怒濤を蹴つてウラヂオ丸を航路に待ち受け

無電で 連絡を保つてゐたためウラヂオ丸が同船を發見して停船直ちに小島君を下船せしめ同君は小名濱から鐵路原籍地に向ひ無事入隊した、この太田氏等の義擧に對し大眞商店では頗る感激し町役場を經て

禮狀を 寄せられたが聞くも麗しい銃後の海國美談として專らの評判である

滿洲事變の功勞賞

平市に五名

平市出身兵の滿洲事變功勞者左記五名に對する功勞賞は十八日市役所から傳達された

△瑞八（一一〇圓）工兵上等兵關原司
△同（一〇〇圓）步兵上等兵高野靜次
△同（五五圓）工兵一等兵福田信武
△（一〇圓）步兵上等兵會川正雄
△（同）工兵一等兵田村重一

法事費獻金

平市驛前齋藤角治氏は父故松次郎氏の三年忌に當るが法事の費用を節約して金十圓を今十八日平市役所を通じて國防費に獻金した

マグロの敵を獲へ

獸皮の代用に當てる 回遊する鰐鮫に着目

沿岸民勇躍

獸皮の輸入制限および皮革の非常管理に伴ひ國產魚皮の利用はいよ〳〵重要視されてゐるがこの魚皮貴重品時代に刺戟された小名濱町を始め江名、四倉各濱の漁民達は近く漁期に入る鮪を追ふて回遊する鰐鮫に着目しこれが漁獲方法を研究してゐる

網漁家の話では鰐鮫は鮪と一緒に回遊し鮪網を損することがしば〳〵あるので困り切つてゐるといふことでこれを漁獲した皮を高値で賣ることになれば正に一石二鳥にもなるので沿岸漁民達は非常に張切つてゐる

磐中對平商

全く伯中戰

磐中對平商の第三回野球戰は十六日午後三時半から高月球場に擧行されたが戰績は左の如く九—九の對スコアーで閉戰した

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
平商	0	2	0	4	0	0	1	2	0	9
磐中	0	4	0	0	1	3	0	0	1	9

入山對平商

入山對平商の野球戰は昨十七日午後一時から入山球場で擧行、十二對八で平商惜敗

第二校長出福

千葉平第二校長は今十八日福島市教育會館に開かれた縣下教化關係協議會出席のため出張した

第二校考査

既報平第二校の第一學期學力考査は今十八日全學年一齊に行はれた

十三歲で徵兵願ひ

實際の年齡は廿八

▽……非常時意識に燃えて

▽……裁判所へ戶籍の訂正

中好間字川原子二九木田淳方土工渡邊國光君は一昨日平區裁判所に出頭

自分は實際の年齡は廿八歲であるが戶籍面の年齡は十三歲になつて居る爲め未だ徵兵檢査を受けずに居る、最近友達等が歡呼の聲に送られるのを見て羨やましくてならないが、自分も此の非常時に是非國家のお役に立ちたいから戶籍を訂正して徵兵檢査を受けさして戴き度いと

代書人に書いて貰つた書類を提出して頻りに嘆願するので小野監督書記が窓口に出て應接するとガツチリした巖丈な腕つ節で甲種合格疑ひなしの體格「何故廿一歲の時に願出なかつたのか」と尋ねると「其頃は至つて呑氣で兵隊に行き度いとも考へませんでしたが、今は國家の大事ですから是非檢査を受けたいのです」と飽迄純眞なので目下審理中であるが

事情あつて出生屆の遲れて居た處母親が死亡し叔父の世話で一家創立の手續を運んだが其際出生年月日を誤つて終つたものであらうと

一月と六月の市內物價對比

國內は長期聖戰に對應して諸物價の統制を圖つて居り、正札賣りの勵行と共に今後は或程度までは突飛な値上りにブレーキを掛け得るものと豫想されるが、平市役所調査による本年一月と六月下旬の騰貴比較物價は左の如くで內でも麻及び紡績綿糸の騰貴は最高なものである（カッコ內は六月値段）

△上等白米一石三五圓二〇錢（三六、四〇）△大豆一石一八、九〇（一九、三〇）△淸酒同一二〇圓（一四〇圓）△鷄卵一〇〇個三、五〇（四、〇〇錢）△紡績綿糸百斤一五〇圓（二四〇円）△麻同一五〇圓（三〇〇圓）△石炭一キロ一六、五〇錢（一八、五〇）△薪炭十貫一圓（一、六〇）△美濃紙十帳一、七〇錢（二、四〇）△半紙同九〇錢（一三〇）で砂糖類、小豆、綿絲、晒木綿等が幾分値下りを示し味噌、醬油等は平均を保持してゐる

今夏初めて河童連跳る

羽根が生いた氷菓の賣行き

毎日晴れたり曇つたり梅雨もまだ明けきらぬと思つてゐるうちに暑さだけはドン〳〵進行してけふは正午の溫度三一、二度で平年に比べ高い方ではないが七〇パーセントの濕度が加はつて市內は今夏はじめての蒸し暑さだつた午後になつて益々暑さが加はり河川はどこもこゝも街の小河童連で超滿員アイスケーキの氷屋さんも今年になつて始めて目の廻るやうな忙しさだつた、然し海への逃避行はさすが事變下だけに殆んどなく小名濱、四倉海水浴場の如きは至つて閑散……

醬油屋の雇人が窃盜

高久村大字下高久醬油釀造業鈴木佐釜方雇人鴻野喜平（四二）は去る十三日夜八時頃同僚共同箪笥から金五圓を窃取したのを手初めに衣類其他を窃取した事發覺十八日平署に檢擧された

娘と口論

老父が家出

湯本町八仙勇次氏養父七草木茂作（六五）は去る十五日夜同僚の神田留雄方で飲酒歸宅したが實娘のギン（三一）と口論の結果十六日朝五時頃無斷家出したので十八日平署に搜索方を願ひ出た

同僚の腕時計

盜んで發覺

湯本町入山炭礦坑夫內郷村川平近藤幸德（二六）は去る十五日午後一時頃同僚の田邊谷正二氏所有のクローム腕時計（價格十八圓餘）を窃取した事發覺十八日平署へ檢擧

稻作の打擊 最少被害に

食止對策攻究

農試の技術を總動員

神谷農事試驗分場では連日の降雨に郡下の稻作が大打擊を受け凶作を豫想されるに至つたので近く技術員を總動員して最少の被害で喰止めやうと目下對策を攻究中であるが縣農務課から藤田技師が出張指揮に當ると

中等校選手

宿舍其他決定

縣下中等學校の體育大會は既報の如く來る二十二日磐中コートに擧行される球技大會をトップに野球が二十三日から三日間福島市、柔劍道が二十四日白河中學校道場、陸上競技が二十四日安積中學校グラウンドと各地に展開されるが、これに備へ連日猛練習を行つてゐる磐中、平商兩體育部の各部の出發時刻及び宿舍は左の如く今十八日決定發表された

△磐中（野球部）二十二日午前八時三十分—金源旅館（競技部）二十三日午前八時三十分—太田屋本店（柔劍道）二十二日午前八時三十分柳屋本店

△平商（野球部）二十二日午前八時三十分—福島ホテル（競技部）二十三日午前十一時十分—田村屋（柔劍道）二十二日午前六時十二分—中村屋

尙二十二日福島市に開催される縣下女子中等學校體育大會に出場する磐女チームは二十一日午前八時三十分で出發する、宿舍は藤金支店である

帳簿洩れ

古物商罰金

平檢事局では既報の如く平署が檢擧した不正古物商を引續き取調べてゐるが、今十八日も平市字古鍛冶町古物商山田正（三五）が罰金八圓、泉村大字瀧尻字上谷古物商金成玉（三〇）が同三圓にいづれも略式で處分された

兩名はいづれも附近から買集めた鐵屑類を問屋筋に賣却しながら帳簿に記入しなかつたものである

秋蠶飼育

萬全を期し

注意書配布

平蠶業取締支所では郡下の春蠶が降霜のため被害を受けたに鑑み秋蠶飼育には萬全を期して銃後生產の確保につとめやうとこの程注意書を管內の各町村に發した、因に注意書記左記の如くである

一、催靑　國蠶日一一一號×國蠶支一〇七號は低溫催靑をすると三眠蠶が出易く繭も不良となるので華氏七十七度乃至八十度を目標として明るい所で催靑するがよく

二、掃立　高溫の際における二夜包は蟻蠶を著しく弱らせるので發生が二日に亘る場合は二回に掃くか前日の蟻蠶は冷所に保護することが大切である

三、稚蠶室　南及西側には日覆を設け高溫を避けると共に冷風は必要に應じ利用出來る樣に佩つて置くがよい

四、用桑　日照不足のため葉質が不良で軟化病發生の原因となる恐れがあるので稚蠶用桑の選擇には最も留意せねばならぬ、即ち早生桑の幾分硬目の桑を選ぶのが安全である、國蠶日一一一號×國蠶支一〇七號は硬目で飼育すれば不齊となり易いが壯蠶に割合齊一となるからその點は餘り心配ではない、なほ稚育を爲すには一層良質の葉を必要とすることはいふまでもない

五、飼育型式　勞力不足の際であるから手數の省ける飼育法は望ましいことではあるが斯る飼育法は一般に葉質が適良でなければ失敗する危險が多いので極端な不馴の方法は見合せたが良い

六、溫濕度　高溫、低溫共多濕を伴つた場合惡影響が大である秋蠶には日中高溫多濕（蒸熱）になり易く夜間は低溫多濕（冷濕）に陷り易いので濕氣の多い時は少量の火を用ひ室內の空氣を流動せしめ濕氣の排除に努めねばならない、これは硬化病豫防上からも大事のことである目的溫濕度は華氏七十七度乃至八十度で五度內外の差とすること

七、給桑　常に殘桑の蒸潤程度に注意して給桑回數に拘泥せず新鮮なる良桑を適當給與する事は高溫時における給桑の要點である

八、上簇　自然上簇法を應用して上簇勞力の節約を計ること、なほ改良簇を使用し早目に拔きを行ひ生產繭の品質向上に努める事も亦肝要である

高等科生集團勤勞

平第一校では既報の如く今夏休み中臨海學校や一泊登山等を催すが同時に高等科生の集團勤勞作業を行ふ事になり目下準備を進めてゐる

ラヂオ

JOHK

今晚の部

▼後六、〇〇（子供の時間）世界偉人傳「諸葛孔明」（脚色並演出）東京放送童話研究會
▼後六、二五 講演「化學工業と水」（東北帝大教授、工學博士）八田四郎次
▼後七、三〇 國民歌謠 一、「みのり」二、「のぞみ」三、「まどゐ」（獨唱）松原操（伴奏）東京放送管絃樂團（指揮）小田准吾
▼後七、四〇 青年の時間「長期建設と青年」（大日本聯合青年團常任理事）栗原美能留
▼後八、〇〇 新講談「兵曹長の妻」田中嚴
▼後八、四〇 物語「大義」（佐藤利雄原作、湊邦三補作）中村芝鶴（伴奏）東京放送管絃樂團
▼後九、二五（仁川より）メンロン蛙を聽く
▼後九、三〇 時報ニュース、ニュース解說、氣象通報、番組豫告

明日の部

▼後〇、〇〇 漫談「海は笑ふ」西村小樂夫
▼後六、〇〇（子供の時間）世界偉人傳「諸葛孔明」東京放送童話研究會
▼後六、二五 講演「世界を旅しての印象」清澤洌
▼後七、三〇 國民歌謠松原操
▼後七、四〇（北京より）支那音樂
▼後八、〇〇 管絃樂大阪放送交響樂團
▼後八、三〇 ラヂオ時局讀本
▼後八、四〇 新內「一の谷嫩軍」

平市人事

回婚姻

△材木町五五鈴木美智子（三二）さん山梨縣北巨摩郡小笠原村小笠原四一四八小泉三郎（三五）氏
△正月町一七佐藤喜代子（二〇）さん四倉町字鬼越一六八松本武雄（二五）氏
△搔槌小路一六渡邊秋平（二八）氏飯野村大字中山字赤三渡邊里（一八）さん
△中平窪字勝見澤四四新妻千代（三二）さん崎玉縣南崎玉郡百間村字東八四加藤盛助（三二）氏

回死亡

△研町一九馬目ツネ（七七）さん
△正月見鈴木法子（三）さん
△南町七七堀滿次（八三）氏

吉例土用丑
牛肉大賣出し
二十日土用入丑
滋養、味覺、豊富な牛肉を
平市田町
三二三屋
電話三二三

吉例土用丑
牛肉大賣出し
二十日土用入り丑
滋養豐富な牛肉を是非……
平市田町
石川亭
電話四十三番

暑中御伺ひ
丑の日大賣出し
毎度御引立を蒙り難有奉謝ます吉例により二十日（土用入丑）大勉強大賣出し致します
大蒲燒
うなぎ丼
松本樓
電話一一三番
（出前迅速）

愛憎三度笠

吉川延作
瀧秋方画

……（23）……

二つの刀 九

「嘘！先刻も話したではないか思ひ違ひをされてゐるのぢや、何故、その女が拙者の手許から脫走したか、自分にもよくわからぬ」

「でも、そのことで御離緣ではございませんか」

「それで俺も困つてゐる、全く愛してはゐないのだが、おまへにも、そんなに見えるかなア」

「失禮いたしました、それでは若旦那さま、お一人でございますの？」

今まで泣いてゐた彼女は、急に泣きやんで、彼の顏を凝つと見つめてゐる。

「俺は一人だ」

「そんなら、どうして、あんなにお母樣がお怒りでございませう」

「それで、俺も、不思議でならない、自分の伜が憎いと思ふのは、あゝした教育を受けて來られた、つまり儒教によつて育てられた人達の癖だね、俺の意見を聞かないのだ」

「まア」

「呆れるだらう、仕方がない、俺が火のない所に煙は立たず、俺がおしんといふ女と、意外な處で出あつたことがわづらはしたと諦めやう」

「お絹の事ですわ、それでは、その女の方は何處へお出でになつたのでせう」

「どの道、うはき女だから何處かへ男を求めに、出かけたのだらう」

「まア、御冗談」

と、彼女は笑つた。

「おまへには癖の癖だつた、母が何か、ひどいことをいつたのぢやない、ね」

「エ、、隨分」

「許してくれ、俺が代つて謝罪する、この厚意は、何時かは報ひる」

と、彼は、立ちあがつた。

「お待ち下さいませ」

と、お絹は、大助の袂にすがる

「いや、厚意はかたぢけないが俺はこの土地には、をれやう筈はない」

大助は、お絹の、面白い、いぢらしさに、不思議な魅力を感じながら、悲しい氣持で、彼女の手を、振りほどかねばならなかつた。

「あの、若旦那さま、おまちくださいませ、あの、母も……母も、御挨拶をいたしたいと申してをります」

「いや、それでは却ていたみ入る」

「お出かけになるにいたしましても、奧さまの御前では、夜分にとのことでございました」

「なに、夜分に出せといつてかへられたか」

「はい、世間は人目に立つとおつしやいましてございます」

「さうか」

彼は、突然、なさけなくなつた、かなしくなつた。不覺にも涙がはら〳〵とこぼれたのである。

その涙が、彼女の頭に、背に、二三滴振りかゝる。

お絹は、愕然として、又、娘らしい感情をふかめると同時にワッと急に泣きふしてしまつたが、

「まア、どうしたのです」

と、母親が、彼女の泣き聲にびつくりして、かけこんで來たが、

「まあ、若さまも」

と、涙をながす。大助の顏と、娘の顏を見くらべて、母親も、又、袂で眼をおさへて、むせびあげる。

家庭メモ

◇もうふの毛立て　もうふを何度も洗濯しますと毛が寝て見た目が惡くなりますから、この時は毛立てブラシでかるく逆毛をこすると毛が立つて見た目もよくなります

簡單なやうで
夏のお客樣を何うもてなすか
―なか／＼難しいもの―

夏、お客に來られた方を、どういふ風に取扱つたらよいか？これは何んでもない事のやうですが、却々むづかしいもので、どこの家庭でも一寸頭をひねる所ですお客樣は交際、時宜の爲に暑い所をおして來られるのですから、これを心からもてなし、スガ／＼しい氣分を抱かせたいものです。ではどんなもてなし方をしたらよいか？目うへの人の場合、同僚の時、隣人の際などについて、その接待法をうかゞつて見ました

應待の色々

目上の客の場合

目うへの茶客の場合、自分の先生とか、役人ならば御世話になつてゐる局長課長など、まづ先方の奥さんの場合として、訪問を受けた時には、第一に涼しい部屋へ通し

□冷□　たい飲物の出るまへに熱いタオルを差出すと化粧なさらぬ老夫人などは喜んでお顔をふかれ、でなくても手や手首の邊りを氣持よささうにふきます。若い方や化粧をしてゐる人ならば、主婦が氣をつけて光線を背に、暗い方に向つた椅子へ座席をすゝめ或は椅子をすゝめる。外を歩いて來て汗とほこりによごれた顔で少々氣のひけてゐるところ、眞向ひからテカテカと光線のあたる所は非常に不愉快なもの、殊にこちらの主婦が厚化粧にきちんと着物でも着かへてゐる場合など、一層氣のひけるものです、つまり客の缺點を目立たせぬやうに、主婦は小さい所まで氣をくばること、食べものはつめたいものと果實、それから食事時であればごくかるいもの、サンドウヰッチとかフレンチ・トーストのやうな衛生的なもの

□遠□　いところでお壽司などは却て迷惑がられますからもしすしの場合は生物でないこと、おうなぎなどのやうな一般むきでない場合は除りすゝめぬ事です

來訪者が先方の主人の場合、もしこちらの主人が不在の場合は大抵お茶とお菓子位で歸られるが、彼の場合は主人と共に食事をさしてあげるべきでせう、先に入浴して浴衣がけなども、夏の應接法としては氣が利いてゐるかもしれません、汗くさい下着をぬいでサラリとのりのついた浴衣などはうれしいものです主婦の愛嬌にもなり喜ばれませう、でない場合にはやはり熱いタオルを差しだし、或は洗面でもよし、それから第一につめたい飲み物や果實について冷え切つたビールとおつまみもの、お魚の鹽燒きや酢のものなどなるべく涼味のあるもの、もらつた罐詰で適宜の料理などもよろしい、すべて身分相當にすることです

友人の客の場合

同僚もしくは友人の場合は心おきなく――といふことが一番うれしく、涼しい御馳走です、お座敷の床の間にキチンと座ぶとんをすゝめられるより、緣側のすゞしい

□庭□　の涼風の入るやうなところへ座をすゝめて、浴衣をすゝめるのもよし、冷水で洗顔のもてなしもよろしい、食事は自分の家のおさう菜より一、二品そへた程度のもので澤山、その食事も卓袱臺を緣側に出て喫するやうお客樣あつかひはすべて禁物です、結婚してから遠ざかつたり、子供が大勢になつたりして無沙汰になつてゐる人も多いのですから、せめて年に一二度舊交をあたゝめる意味で、こんな時にはきはめて家族的にすることです

どんな女が歡ばれるか

◇…お座敷で、一寸よけて通ればよいものを、座布團などの上を無雜作にふんで通る人がある、若い娘さんのつゝしむべきこと何んとなく粗野に見え、一事は萬事と全性格までものぞかれてしまひます。

◇…會話中、ほどよき談笑はなごやかな空氣をかもしだすものですが、食物を口へ入れてもくもくとかみながら談笑することはみにくいもので す、そればかりでなく何んとなくおちつきのない、かるい人のやうに見られます。

◇…話中やたらに身體をゆすぶつたり、頭へ一寸手をやつてみたり、帯の邊りをおさへて見たり、また歩きながらふざけたり飾窓の硝子へ姿をうつしてみたりするなどはいかにも浮ついた調子で安つぽい感じをあたへます

お試し下さい
美容體操
上體を擧げる緩かな運動法

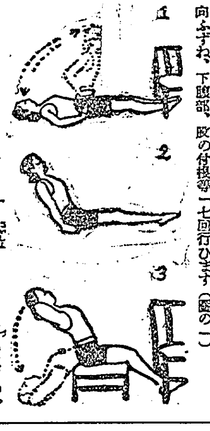
ゆるやかに上體を擧げる運動――（この運動を繼續しますと腹膜と下腹全體を强靱にし、そして向ふずね、下腹部、股の付根等の恰好がよくなります）

◇床に仰臥し、爪先を家具、椅子等の下におき兩手を腰に上體を四十五度のかたむきまで靜かにおこし、それから又仰臥します、六、七回行ひます（圖の一）

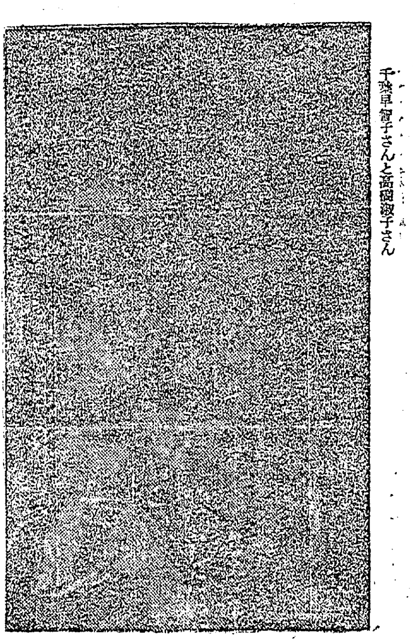
◇最初なれぬ間は（圖の二）のやうに上體を上下する際に兩手を床について繼續し、上手になつたら腰に手をあてゝ下さい

◇以上の運動が上達したなら次には椅子に腰かけて、兩手をくびの後におき、兩ひざを十分に後に引き、上體を上下し、下げる場合は反身になつて頭が床につくまでさげます、この運動も六、七回行ひます（圖の三）

◇呼吸は上體を後方に倒す時息をすひ込み、上體を起す時吐きだします



流行美人の姿さまざま



千葉早智子さんと高碕淑子さん

ピー・シー・エルの人氣スター千葉早智子さんは、トーキーが今五年遲く日本で始められたら、銀幕にデヴューしなかつたらう、それほど彼女の琴は美しい――それもその筈、宮城道雄氏門下の逸材で尺八の吉田晴風氏と洋行までされた方。仲よしの淑子孃はその頃からのお友達。さう曲と三絃をいまも宮城氏と音樂學校（分教場）で研究される麗人。

淑子「このごろ、おひきになりまして？」

千葉「だめなの、お仕事に追はれて、ちつとも……淑子樣、とてもお上達だつて、おうはさをうかゞつてます」

淑子「あら恥かしい。とても未熟で、先生に申わけないとおもつてんのに」などゝ久しぶりに會つた二人の話はつきぬ

結婚を嫌ふ娘さんの心理解剖
單なる恥しさからではない
親達自身反省せよ

「お嫁なんかに……ゆかないわ」といふ、吾子ながらほれぼれするやうに美しくなつた娘に三國一の婿がねもがなと思ふ親心にあれやこれやと候補者をすゝめても「…なんか」と一しうされてしまふこれを單なる娘心のはづかしさからとのみ解釋してはいけない、さういふ娘心の底には意識的にかあるひは無意識にさうした言葉を吐かせるに當然の理由があつて、親自身が反省しなければならないことも少くないからです

▣

娘心に「いやだわ」といはせる原因としては……

◎常に兩親の夫婦仲が惡く母が虐待されてゐるやうなことがないか？あれば結婚生活を苦悩視する

◎夫婦仲は圓滿でも母の生活が家庭的に惠まれないやうな事情にはないか？母への同情は結婚をきらふ

◎母娘二人きりの場合は、娘の愛情が母に固着して女性以外の男性に愛が發展しないこともある父親とか男兄弟のゐないため男性に對する無意識的な異性愛の訓練が出來ないからだ

◎男性が占める社會的な優越性とか力または傳統的な男性の强さを見て女とはつまらないものと考へる「女性の劣等感」が男性に對する不滿反抗となつて、それが結婚を嫌はせる

◎女性は罪惡感が强い、男はちよつとした間ちがひ位にはくよくよしないけれども女性は常に神經過敏だ、娘が無意識中に潛在する母に對する嫉妬二つの感情は父を對象とした罪惡感となり不安を感じて結婚する勇氣が出ない、結婚は娘心には大きな冒險だから非常な不安があつては出來ない、殊に性教育が圓滿でなかつたならば性的關係を嫌惡し結婚を恐怖する

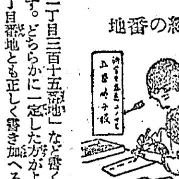
▣

そして娘さん達は經濟的に獨立をする、もつと勉强したい、または明らかに結婚話をきらふなど意識的にあるひは無意識的に、そしてたくみにあるひは拙劣に表現して縁談をことわる、その原因がどこにあるかは親でさへなか／＼見分けるのが困難だ、女性のみに存する職業に入つてゆく人はかうした原因が强くて結婚きらひの女性が多い

▣

「結婚なんかいやだわ」……それが單なる言葉であればよいが心に强く潛在したものであつたならば大變な不幸である、家庭は第一次的性感情を圓滿に豐かにするため小さい時、小學校四、五年ごろに男女の子供らしい無邪氣な交際をさせる必要がある、男兄弟のある娘さんはその點境遇にめぐまれてゐる、また父親が娘によく接してやるやうなことも必要だ（女子聖學院今村正一氏談）

御存じでせうが？



手紙の番地

封書の手紙を出す際、先方の家の所在は知つてゐるが番地を忘れてしまつた場合には、府縣市町名の下に、略地圖を書き、近邊の大きな目印を書き込んでおくのも一つの方法です。これは書いても差支ないことになつてゐます。先方の丁目番地を「三ノ九六」など略して書き、自分の方を「一丁目三百十五番地」など書くのはつり合ひのよくないものです。どちらかに一定した方がよく、殊に目上に出す場合には、丁目番地とも正しく書き加へる方がつゝしみ深くてよいものです

漬物をおいしくする

暑くなると漬物がおいしくなつて來ます、そこで、おいしくいただくにはまづ鹽のニガリをのぞくことです、それには灰（火鉢の灰または煉炭の灰）をお茶わんに三四杯新聞紙につゝみそのうへからなほふきんでつゝみます、そしてこれを鹽を入れる樽またはカメの底にしき、そのうへに鹽をいれますと二、三日でサラ／＼した鹽になります、灰はなほそのまゝしておき約四、五日鹽につかつたころになるとしつとりして來ますからこの時に取りかへます、すると鹽のニガリがすつかりとれておいしい漬物がいたゞけます

不滅のシンボル

（[illegible]）

群司次郎正 作
大津進子 畫

……第六十四回……

追想（一）

長い／＼手紙は幾度も幾度も、女に向つて出された。女のことを思ふて眠れない晩などを、彼は夜のやうに手紙と寫眞とに觸れながら、殆んど徹夜の狀態を續け、朝になるといつもぼんやりと眞拔けした人のやうに生氣がなかつた。

彼はたゞ女に會ひたかつた。逢ひたいといふ衝動に驅られた。

その人には逢へないで、此頃少し忘れた形になつてゐた早百合が突然遣つて來るといふことは、彼に取つては一寸驚きであつた。

ある晩のこと、杏二は停車場へ早百合を出迎へに行つた。

彼女が同居してゐたおたきの家は、今では最う他人が移つてゐるのだつた。

此地へ來ても直ぐ足を止める所はないが、宿屋にするか、それとも彼女の荷物を預かつてゐる關係上、自分の家へ案內すべきものか杏二は色々に考へながら、停車場へ出かけて行つた。

汽車までにはまだ間があつた。靜かな三等待合室に入つて杏二は柔かなクッションに腰を掛けながら、考へるともなく思ひに沈んだ。

雪乃の事が直ぐ彼の頭を掠めた。此驛で雪乃を迎へる日は、どんなに嬉しいだらうと思ふと、彼は最うぢつとしてはゐられないやうな氣がして來た。

『だが……』

と、彼は心に呟いた。

早百合が此地を立つ時と今とは自分の生活氣分に大分隔たりがあると思つた。僅かの間に變化した自分を、彼はそこに見た。

それと知らないで會ひに來る早百合子のことを思ふと、流石に彼は咎められるのだつた。

『だが、それも仕方がない』

彼は、さうなつて行つた自分の心持を、今更何うすることも出來なかつた。

一時間ばかりの後には、二人は杏二の部屋で向ひ合つて話してゐた。

早百合は兄が死んで以來の事を一度も二度も手紙に書いたことを又此所で繰返して話すのだつた。

杏二は彼女の留守中のことを何彼と細點に話した。おたきのことが自然話題に上つた。

『さう。あのお內儀さん、最うゐないんですか。出て來たつてことはお手紙で知つたんですけど。私まだ此方にゐることゝばかし思つてゐましたよ。あの人がゐないとなると、わたしも一寸吻つとするわ』

早百合は云ふのであつた。

心から安易な氣持がするやうに彼女の顔は晴々として來た。

不幸事に遭つて、餘程憔悴してゐるかと思つてゐたら、前時分より却つて元氣も出て、若々しくなつたやうな色艷のいゝ顔を杏二は其所に見た。

『あなたにも宜しくなんて云つてゐたが、後悔してゐるやうで、又洒々した所のある女だつたな。鄕里へ歸つたら、何れ東京へ行くから、また早百合さんとは逢へるなんて云つてゐましたつけ』

笑ひながら、杏二が云つた。

胃腸病に一大黎明

胃腸
心臟
便泌性
に！

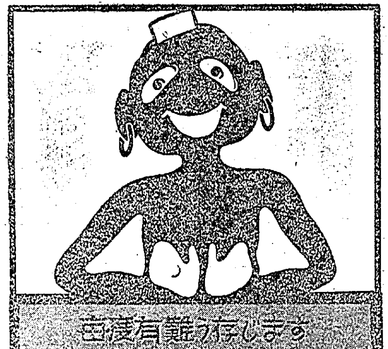
平市田町
阿部藥舖

サンマーニュース
松月堂の
"アイスクリーム"
高雅な味覺
豐富な榮養
松月のアイスクリームこそ近代人の要求にピッタリ合つた夏季嗜好品なのです、御遠方御持參にはホームパックを御利用下さい。
◇七月一日發賣
銀座通 松月堂 TEL二〇六

專門
花柳病科
婦人科
產科
▼入院隨意
井坂醫院
平市田町 電話五五九番

美味・衛生的
夏!! 飲料界の王座
アイスキヤンデー
始めました。僅か一本……涼味が滿喫出來ます。是非御散歩がてら御出かけ下さい。
丕祿寳
平市一丁目 電話一四一番

洋酒と食良
經濟本位



レストラント
平凮舘
電624

三井タクシー
平二 電話六八五番

吉田眼科醫院
平市紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

提灯と國旗
スガノヤ

土用丑の日（二十日）
ウナギ大賣出し
榮養の王座!!! 味覺の覇者!!!
丑の日には定評ある魚榮のウナギを多少に拘はらず是非御用命お願ひ致します
大蒲燒 五十錢より
うなぎ丼 四十錢より
出前迅速
うなぎ 魚榮
電話四二四番

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士 鈴木正男
平市田町（藤田女學校前）
電話五八番

フケで頭の痒ゆい方に……
三共のサボイド石鹼の御使用をおすゝめ致します。
本石鹼は最上の原料により製せられた硫黃コロイド石鹼ですから、其他あらゆる皮膚病の方が用ひてよろしく、又、皮膚病豫防の目的にて常用されれば美容と衛生の上から非常に喜ばしい効果をもたらします。
1ケ20セン
三共株式會社代理店
西村屋藥局
平市本町二丁目 電話三番

御贈答に……
美味
鰹節
鰹鹽から
多聞屋
志賀盛榮商店
平市四丁目 （電話二一三一番）

◎診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼續架工科
齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町（松月堂向ヒ）
中野齒科醫院
電話五〇九番
院長 日本齒科醫學士 中野惠次
日大齒科醫學士 鹽谷伍郎
補綴部主任 福田幸次郎

◎◎◎
氷は魚清
（電話四六七番へ）
本店 平市二丁目聲樂通り 魚清氷卸部
支店 江名町築港內 江名販賣店 電話六九番